

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2003-20412 (P2003-20412A)

【公開日】平成 15 年 1 月 24 日 (2003.1.24)

【出願番号】特願 2002-152108 (P2002-152108)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 101/00

B 0 5 D 7/00

B 0 5 D 7/24

B 3 2 B 27/06

C 0 4 B 41/63

/(C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 91:06 )

【F I】

C 0 8 L 101/00

B 0 5 D 7/00 D

B 0 5 D 7/24 3 0 1 F

B 3 2 B 27/06

C 0 4 B 41/63

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 91:06

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 24 日 (2005.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

スケール 0 (黒) から 1 0 0 (白) までのスケールにしたがって黒から白を測定する L<sup>\*</sup> スケールを用いた比色測定により二次白華耐性の程度を測定した。コートされたセメント質基体が黒色のスラリーコートをし、白華により基体表面上に白色付着物が形成されるので、L<sup>\*</sup> 値は白華の程度が増大するにつれ増大した。初期 L<sup>\*</sup> 値を測定した後、コートされたセメント質基体を水浴中に入れた。セメント質基体を水浴から取り出し、18 時間乾燥させた後、最終 L<sup>\*</sup> 値を測定した。L<sup>\*</sup> 値の差、 $L^* = (\text{最終 } L^* \text{ 値}) - (\text{初期 } L^* \text{ 値})$  により二次白華を測定した。許容できる L<sup>\*</sup> 値は、0 以下であり、これは許容できる二次白華耐性であることを示す。

水白化耐性試験：促進実験室試験において水白化耐性の程度を評価した。コートされたセメント質基体を 60 ℃ 水浴 (Precision Water Bath 270 型循環水浴) からの湿分の凝縮水に 24 時間曝した。コートされた面を 60 ℃ の水に面して水面上 4 cm に保持する金属格子上で水浴上にコートされたセメント質基体を設置した。コートされたセメント質基体を水浴から取り出した直後に評価した。